

平成30年度 幼児アクアリズム教室 スタート

海洋センターのプールがオープンしたばかりの6月5日、平成30年度の幼児アクアリズム教室がスタートしました。

初日は、町内の3保育園から年長児童26人が集まり、センター指導員や保育士とともに教室へ参加しました。

年長児童は昨年に引き続き初めての参加ということもあり、待ちきれない様子でプールへ入り、「冷たくてきもちいいー」などと歓声をあげながらプログラムを楽しみました。

アクアリズムを担当する海洋センターの丹羽指導員は「この教室をとおして、水が好きな子になってくれれば」と語りました。

幼児アクアリズムとは？

アクアリズムは、幼児期の水中運動をとおし、水慣れをしながら心肺機能や運動能力の向上を目指す運動プログラムで、以下の4つの軸を基本として行われます。

- ①音楽体操
音楽に合わせて体を動かすことにより、準備体操とリズム感を育てます。
- ②循環系運動
水中での「走る」「跳ぶ」といった動作を組み合わせ、心肺機能を育てます。
- ③神経系運動
遊びの中で水に顔を近づけたり、口をつけるといった動作をすることにより、自然な水慣れを図ります。
- ④アクアスタディ
水中での遊びをとおして、水泳の基本動作になるキック(バタ足)を学習します。



②循環系運動
みんなで走って流れるプールを作る



①音楽体操
リズムに合わせてウォームアップ



④アクアスタディ
ロングビート板でキックの練習



③神経系運動
プールに浮かべたボールを集める



▲実際に町内で捕獲された熊の手を見る生徒

本川根中1年生 「鳥獣被害」 体験学習

5月15日(火)、三盃にある南アルプスジビエ牧場を会場に本川根中学校の1年生が総合学習「まるごと体験」の一つとして、鳥獣被害に関する学習を実施しました。

農林課の職員から町内の鳥獣被害の状況について、猟友会の会員からその捕獲の現状について学んだほか、実際に行われている「わな猟」についての解説と道具の使い方についての説明を受けました。

その後、会場付近の町道沿いにある獣道でわなの仕掛け方の実演を見学し、昼食として町内で捕獲された鹿肉や猪肉のバーベキューを味わい教室は終了しました。



▲わな設置の実演を見学

今回の授業に参加した泉谷汐音さんは「鹿や猪にも、人間と同じで命があるのだから、その命を無駄にしないようにしている猟師さんたちの動物を思いやる気持ちを理解することが出来た。生活の中で食べているものにも感謝していきたい」と感想を述べました。



▲最後は鹿肉と猪肉でバーベキュー

また、今回わな猟の解説をした猟友会の殿岡さんは「現在、猟友会の会員は全部で60名程度だ、最盛期には300人以上の猟師が加入していた。会の高齢化が進んでいるので、このような機会をとおして若い人が少しでも興味を持ってくれるとうれしい」と語りました。